

平成29年第8回 魚津市教育委員会会議録

1 開催日時及び場所

平成29年9月1日（木）午後3時40分
第一分庁舎2階会議室

2 出席者

教育長 畠山敏一
1番 大野聡一
2番 島津豊
4番 細川祝

3 出席職員

次長兼教育総務課長	武田寛	学校教育課長	上坂一弘
生涯学習・スポーツ課長	宮崎悟	地域協働課長	吉崎敏
こども課長	宮野司憲	学校給食センター所長	藤田晶子
図書館長	初道ゆかり	埋没林博物館長	高田弘美
水族博物館長	稲村修	学校教育係長	田村理子
総務係長	米澤祐治	スポーツ係長	木下英暖
生涯学習・文化係長	塩田明弘		

4 傍聴人 2名

5 会議の要旨

午後3時40分、畠山教育長が開会を宣する。

(1) 前回会議録の承認

全員異議なく承認した。

(2) 報告事項

- ① 平成29年度9月補正予算について
- ② 平成28年度各決算に係る主要な施策の成果報告書について
- ③ 平成28年度事務事業説明書について
- ④ 住吉・上中島・松倉統合小が校木造校舎新築事業について
- ⑤ 平成30年度から実施予定の「公立保育園における土曜拠点保育」に係る保護者説明会開催状況について
- ⑥ 平成29年度末「こぼと児童センター閉館」に係る利用者等説明会開催状況について

(4) 議事

【平成29年度9月補正予算について】

大野委員

外国子女に対する学習支援員配置賃金が計上されているが、どこの国、言語を予定しているのか

上坂学校教育課長

中国語の学習支援員を予定しています。

【平成 28 年度各決算に係る主要な施策の成果報告書について】

大野委員

施策の成果報告書に関連して、埋没林博物館の名称について、しんきろう・たてもん等も表現できるものを考えたかどうか。また、民間と連携しながらの運営も考えてほしい。

細川委員

先日、文科省の方の講演を聞いた際、不登校児童への働きかけとして無理に学校に戻さない対応も検討しているとのことであった。在宅学習や夜間教室などでサポートし、家族や周囲から孤立させないことが問題である。将来的には ICT を利用した在宅学習など、登校しなくても社会とつながっていけるような環境づくりが求められているのではないかと。

大野委員

不登校児童でもボーイスカウトの活動には参加する子もいる。学校だけではない活動も大事である。

島津委員

図書館については、自習室の稼働率が高く、常に満員である。新しいものを作るのではなく、既存の施設である埋没林博物館や水族博物館等も自習室として利用できないか。また、学びの森天神山交流館の宿泊者数が増えているとの報告であるが、簡易な修繕でもっと利用者が増える可能性があるのではないかと。

武田次長

学びの森天神山交流館については、民間の方も交えて有効な利用方法について検討を行っているところである。宿泊者については確かに増えているが、それでも使われていない期間の方が圧倒的に多いのが現状である。

稲村水族博物館長

夏休み中の利用については、自習室ではありませんが水族館サポーターに運営等の協力をいただいている。今後も関心のある子どもたちを育てていきたい。

【平成 29 年度末「こぼと児童センター閉館」に係る利用者等説明会開催状況について】

島津委員

児童センターの利用に関して、こぼと児童センターの現状の利用者数はどれだけか。学校統合によりつばめ児童センターに集中するのではないかと。

宮野こども課長

こぼと児童センターについては、現状で 10 名程度の利用者である。つばめ児童センターについては、センター運営側とも協議し、いろんなスペースを活用するとともにスタッフも適正に配置したい。

午後 5 時 10 分、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。